

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 2月15日

【応募者】 団体名 : 特定非営利活動法人 遊佐鳥海観光協会 所在地 : 山形県飽海郡遊佐町遊佐字石田19-18 TEL/FAX : TEL 0234-72-5666 FAX 0234-72-3999 担当者 : 東海林 弘之 メールアドレス : master@yuzachokai.jp 登録旅行業 : 第 3 - 254 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">1 2</div>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
ゆざ湧水散歩 ~秀峰鳥海山の恵み~	山形県	遊佐元町地域
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 鳥海山に降る豊富な雨や雪は、遊佐町にたくさんの河川や清水(湧水)・井戸水をもたらしています。遊佐元町地域でもたくさんの自噴井戸があり、その数は300箇所以上、湧出量は4,200t/日と推定され、人々や生き物の営みを支えています。		

【日程】	1. 日帰り ② 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()		
【旅の目的】	町中のいたる所に湧き出す清水を探索しながらミニウォーキングを行い、遊佐町の商店もウォッチング。ツアー参加者自信で、特産品や日級グルメを発見しよう!		
【実施時期】	(春・夏・秋) 冬・通年 / (実施時期:)	【催行人員】	20名 (最少催行人員: 10名)
【原価】	内 訳		
	13,400円 (大人1名)	交通費用(バス代) 35,000円 宿泊費用(1泊2食) 8,600円 ガイド費用(2日間) 10,000円	旅行傷害保険 300円 企画料 100円
【販売価格】	13,500円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	大人1名 13,500円	【子供料金】 有 (10,500円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

町内の自噴井戸を散策しながら観光と健康、遊佐の特産を楽しんで頂く。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 遊佐町役場産業振興課 観光物産係 /	⑤	/
② 遊佐町鳥海山観光ガイド協会 /	⑥	/
③ 鳥海ウォーキングクラブ /	⑦	/
④ /	⑧	/

【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【特記事項】	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	遊佐駅(13:00) →→→ ゆざ湧水散歩(13:15~16:00) ※湧水はもちろん町内の商店もお楽しみください ==(バス)== (16:20)宿
2日目	宿(8:30) ==(バス)== (8:45)神泉の水(9:00) ==(バス)== (9:20)丸池・牛渡川散策(9:50) ==(バス)== (10:00)道の駅鳥海「ふらっと」(11:00) ※遊佐町の特産品がそろっています。 ==(バス)== (11:20)遊佐駅
3日目	
4日目	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【コメント】 〈まちめぐりパーク〉 遊佐駅周辺の元町地域には鳥海山に降った雪や雨を源とする自噴井戸がたくさんあり、その一部をご覧になることができます。まちめぐりパークのルートにはお菓子やさんやラーメン店があり、あわせてお楽しみいただけます。</p>	 <p>【コメント】 〈神泉の水〉 地域の人々が生活用水として利用している水に神泉(かみこ)の水と呼ばれている場所があります。六つに分けられた槽は、上流から飲料水用、冷蔵用、野菜や海草すずぎ用、洗濯用、オムツ洗濯用と用途が決まっています。</p>	 <p>【コメント】 〈丸池・牛渡川〉 丸池はうっそうとした樹木の中にあり、豊富な湧き水によるエメラルドグリーンが陽光の光を捉え、神秘的な佇まいを見せてくれます。その丸池のすぐそばを牛渡川が流れています。こちらも湧き水を水源に持ち、清流の象徴といわれる梅花藻が川一面に咲きます。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>【コメント】 〈道の駅鳥海「ふらっと」〉 採れたての野菜や野菜、天然岩ガキなど魚介類の産直が大好評です。また、「味の駅」ではラーメンと手づくり餃子、「ベーカリー工房ほっほ」では焼きたてパンが人気です。四季折々のうれしい遊佐に出会える道の駅です。</p>	 <p>【コメント】 〈駅ナカ直売所「ぼっぼや」〉 平成20年4月にリニューアルオープンした遊佐駅の中にある産直。遊佐町の採れたて野菜や特産品が豊富で、電車を利用される方だけでなく、わざわざ車でもいらっしゃいます。</p>	<p>【コメント】</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

20年 2月 20日

【応募者】	h
団体名 : 最上峡芭蕉ライン観光株式会社	(記入不要)
所在地 : 〒999-6401 山形県最上郡戸沢村古口 86-1	
TEL/FAX : TEL 0233-72-2001 FAX 0233-72-2003	
担当者 : 後藤 勝	
メールアドレス : http://www.blf.co.jp	
登録旅行業 : 第 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。)	12-1
(ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 :	

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
~川ながれのように「水」と「いのち」よみがえりの旅~ 「奥の細道」の源流・最上川と肘折温泉郷2日間 堺田分水嶺・雪国民俗館・朝市・幻想の森・最上峡舟下り・港都酒田 【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 水の恵みは人の命と暮らしの源・・・日本三大急流、最上川は山形全域を流れる動脈であり母なる川であった。水の恵みと人との多様な関わりを最上川を鏡にして映し出し、体感いただき、心身一如、「水」と「いのち」の魅力を図りたい。	山形県	最上川流域観光地域

【日程】 1. 日帰り ② 一泊二日 3. その他 (前後泊プラン可・最上川支流、銀山温泉・山寺、湯の浜温泉・出羽三山)

【旅の目的】 肥沃な土壌をもたらす川は両刃の刃でもあり、防災や利水、克雪に取組んできた雪国の暮らしと文化、歴史に触れながら、始源のひとつである奥羽山脈の大分水界から河口の酒田まで、晩年の新境地の結晶「奥の細道」への源流ともいわれる芭蕉の足跡を辿りつつ、最上川を探索。くだもの王国、米どころ山形を育んできた不可欠の水の恵み、舟運による繁栄をもたらした大動脈でもあった母なる川・最上川の姿を想い浮かべ、大自然への感謝、多様な関わりを有りようを取り戻し豊かな川の流れるように、過去から現在、未来へと人々の暮らしの活力、心身のエネルギーの糧となるような旅を目指す。

【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期:) 【催行人員】 名 (最少催行人員: 名)

【原価】 円 (大人1名) 内訳

【販売価格】 円 (旅行業登録のある場合のみ記入) 大人1名 【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

1. 最上川支流の大分水界から河口の酒田まで大自然の造化、最上川の全貌を垣間見ることにより、力強い自然への感動を呼び起こす。
2. 晩年に新境地を開いたとされる文学的結晶「奥の細道」、芭蕉の足跡と重ねることにより感慨を深め、感動を体験できる。
3. 水を守るのは森林・・・自然の息吹と歴史に触れ、共生こそ唯一の道であることへの共感・・・ポイントでローカルガイド解説
4. 水の恵みの産物を地元産中心に存分に楽しめるようアレンジ (米、新種米、野菜、果物、魚・肉類、他・・・湧水での調理検討)
5. 地元で水の里を育みながら暮らす人々との交流を設定し、旅の味わいの深まりと今後の展開の広がりを企図したい。
6. 仙台・山形・新庄発着、仙台イン庄内・山形アウト、新庄イン庄内・山形・仙台アウト等多様なアレンジに対応可能。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】

①最上エコポリス自然案内協会 / 巨木ツアーガイド	⑤	/
②本合海エコロジー / 本合海の景観守る地域おこし	⑥	/
③最上町観光協会	⑦	/
④新庄市観光協会	⑧	/

【催行日程】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【観光ポイント】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー


【特記事項】

【エントリーシート 別紙】

【行程表】

(前泊プラン)	最上川の支流、立谷川の河畔に峻立する立石寺、芭蕉の一句「寂さや岩にしみいる蟬の声」で有名な山寺(奥の院までは870段の石段)や山寺風雅の国を探索のあと、同じく最上川の支流、銀山川河畔に湯宿が立ち並びノスタルジックな大正時代の面影が残る銀山温泉(最上川流域に花開いた匠の世界「鑲絵」の競演も鑑賞)
1日目	午後:雪国民俗館・新庄山車会館(克雪の雪国の暮らしと歴史・文化・舟運史、祇園祭りが原型の新庄祭りの囃子・山車等含む解説つき) == 堺田分水嶺(東北地方の背骨・奥羽山脈の大分水界、最上川・日本海と北上川・太平洋へと分かれる様子を眼前で) 国重文・封人の家(分水嶺のある堺田駅から徒歩6分、「蚤しらみ馬の尿する枕もと」芭蕉資料等解説つき) == 最上川支流・銅山川河畔、山あいの温泉郷・肘折温泉(開湯1200年、人力車走る昔懐かしい湯治場)
2日目	交流が楽しい肘折温泉名物朝市(地元産の取れたて野菜や、手作り特産品) == 本合海(船着場、最上川うたの道散策エコロジー解説つき) == 巨木神秘の世界・幻想の森(土杉の群生地・おとぎの国の小径を散策、ガイド案内) == 絶景絵巻・最上峡舟下り(食事処や船上の食事プラン以外にも蕎麦打ち体験、バーベキュー等対応可。ふるさと村ではオプションで魚のつかみ取り、滝すべり、筏くんだり等可) == 最上川さみだれ大堰(日本最大級ラバーダム、山形くだもの王国・米どころ庄内を潤す取水堰) == 舟運で繁栄を極めた港都酒田・山居倉庫(庄内米歴史資料館、小鶴飼舟、酒田船塀等解説つき) == 日和山公園「暑き日を海に入れたり最上川」最上川河口展望後自由散策。相馬屋事件の相馬楼、日本3大つるし飾り・山王クラブ、「おくりびと」ロケ地NKエージェント、即身仏・木乃伊の海向寺等、夕刻
(後泊プラン)	月山を源とする赤川(1954年の工事完成まで最上川と合流していた)の新河口を草窓よりながめ、日本海に面した海の温泉・湯の浜温泉(奥羽3楽郷の1つといわれる)翌日:城下町・鶴岡をへて庄内映画村、出羽三山参拝プラン「雲の峰いくつ崩れて月の山」「語られぬ湯殿に満らす袂かな」涼しさやほの三日月の羽黒山(芭蕉「奥のほそ道」)出羽三山(湯殿山・月山・羽黒山)は修験道、死と再生の霊地として東日本一帯の信仰を集めていた。

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
<p>【コメント】 新庄山車会館 (1階) 毎年審査で選ばれる新庄まつりの山車2台が展示され、まつりの様子を映像で紹介するマルチ劇場『新庄まつり躍動のファンタジー』が定時上映されます。</p> <p>雪国民俗館 (地階) 雪国で生活する人々の知恵が機能的で美しい民具を作り出し、独特の文化を育みまし。ここには、市民から寄せられた数千点の雪国生活資料が展示されています。</p>	<p>【コメント】 封人の家 芭蕉が元禄2年(1689年)5月15日(新暦7月1日)から3日間逗留した旧有路家住宅は、江戸時代、小国郷堺田村庄屋だった有路家の住宅兼役屋であり「封人の家」と呼ばれていました。昭和44年(1969年)に重要文化財に指定され、昭和46年(1971年)6月から2年9ヶ月の歳月をかけて解体・復元工事が行われました。芭蕉と曾良は中座敷に通され就寝したと見られています。「蚤虱馬の尿する枕もと」芭蕉</p>	<p>【コメント】 肘折温泉 開湯千二百年。風情あるたたずまいの旅館が軒を連ねる静かな温泉です。湯量豊富にして霊験あらたか、さらに風光明媚、昔ながらの湯治場として、観光客を惹き温泉郷として広く人々に愛され続けています。温泉街の旅館は22軒(25棟)、どの旅館もかけ流しの湯三昧。さまざまな温泉の効能を存分に享受することができます。また、温泉に宿泊されたお客様を対象に行われる朝市も好評です。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
<p>【コメント】 芭蕉乗船の地(新庄市本合海) 元禄2年3月27日、俳聖芭蕉は、江戸深川より曾良とともに旅立ちました。かの有名な奥の細道の始まりです。その後6月3日(旧暦)に、ここ本合海より乗船し最上川の舟上の人となりました。「五月雨をあつめて涼し最上川」の発句が、舟下りを体験し「五月雨をあつめて早し最上川」と推敲されました。</p>	<p>【コメント】 最上川舟下り(最上郡戸沢村) 山形県の母なる川である最上川。日本三大急流である最上川。義経と弁慶がさかのぼり、芭蕉が下った最上川。そのような歴史に思いをはせながら県立公園でもある最上峡をユモア溢れる船頭とともに一時間かけてゆっくり安全に下ります。お客様の笑顔を求めて365日営業中。他の舟下りとは一味違う舟下りを体験できます。</p>	<p>【コメント】 日和山公園 日和山公園は、桜の名所でもあり、毎年4月には酒田日和山まつりが開催されます。園内には、日本最古級の木造六角灯台や方角石、往時活躍した千石船などがあり、港町の風情を醸し出しています。また、酒田には、多くの文人墨客が訪れ、優れた作品を残しています。その作品を29基の文学碑にし、「文学の散歩道」として設置しております。</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 2月 20日

【応募者】 団体名 : 最上峡芭蕉ライン観光株式会社 所在地 : 〒999-6401 山形県最上郡戸沢村古口 86-1 TEL/FAX : TEL 0233-72-2001 FAX 0233-72-2003 担当者 : 三浦真喜男 メールアドレス : http://www.blf.co.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付割 (記入不要) <h2 style="color: red;">12-2</h2>
---	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
最上川満喫悠遊紀行2日間/ 最上川船運と、芭蕉の足跡を訪ねて、山寺・大石田・銀山・舟下り・山居倉庫 あなたは、何を発見するのか? 【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 古今和歌集にも登場する歴史ある最上川。義経が上り、芭蕉が下った由緒ある最上川。江戸時代には、紅花、米を船送するために川底まで削り船運を繁栄させた最上川。そして、昭和天皇が詠い県民歌となっている最上川。古くから人々の生活に根ざし、共に発展してきた最上川の魅力を堪能しようとするものである。	山形県	最上川流域観光地域

【日程】 一泊二日

【旅の目的】 山形県の母なる川である最上川を旅し、その歴史や先人の想いに触れながら、自分の今までの道程を振り返る。また、本催行に参加することにより「奥の細道」で当地を訪れた芭蕉と重ねあわせることができる。そのことにより、自己の過去の総括、また現在の自己心境を把握し、これからの生き方をじっくりと考えることができる旅である。

【実施時期】 春・夏・秋

【原価】 内訳
 見学科金：芭蕉清風資料館@200、立石寺@300、封人の家@250
 乗船料金：@1,780
 円 (大人1名)

【販売価格】 円 (旅行業登録のある場合のみ記入) 大人1名

【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】
 ・山形県の観光ゴールデンルートを踏襲しているために、参加者の満足感が高い。
 ・芭蕉の足跡を重ね合わせることで、参加者の過去と未来の想いにふれることができる。
 ・芭蕉乗船である本合海を訪れるツアーは皆無である。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】

① 花沢市役所 / 芭蕉清風歴史資料館内の案内	⑤ /
② 最上町役場 / 封人の家内の案内	⑥ /
③ 立石寺 / 山寺説明	⑦ /
④ /	⑧ /

【催行日程】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【観光ポイント】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【特記事項】 芭蕉乗船の地である「本合海」まで訪れる催行は稀である。そのため、本企画は貴重な商品である。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】

1日目	山形駅 → 山寺(立石寺)(昼食) → 天童 → 大石田「最上川舟役所跡、大門と堀蔵」 → 10:30 11:00-13:00 14:00-14:30
	西光寺(芭蕉句碑:さみだれを集めて涼し最上川) → 尾花沢「芭蕉清風歴史資料館」 → 銀山温泉(泊り) 14:40-15:20 15:30-16:10 16:40
2日目	銀山温泉 → 山刀伐峠 → 封人の家(旧有路家) → 堺田駅(分水嶺) → 八向橋と芭蕉乗船の地 → 8:30 9:30-10:00 10:05-10:30 11:40-12:00
	古口船番所(船中弁当) ~ 最上川舟下り ~ 草薙 → 酒田:山居倉庫(酒田夢の倶楽部) → 山形自動車道 12:15-12:30 13:30 14:15-15:00
	→ 山形中央IC → 山形駅 16:50

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】 山寺(山形市) 宝珠山立石寺は、通称、「山寺」と山寺と呼ばれ山形を代表する観光地となっております。開山は貞観二年(西暦860年)。山門から奥の院までは、約800段の石段となります。芭蕉が山寺を訪れた際に詠んだ句「閑かさや岩にしみ入る蝉の声」はあまりにも有名です。また、五大堂は天下泰平を祈る道場で、その舞台からは山寺随一の眺望が楽しめます。	【コメント】 大石田堀蔵(オシダノヱ蔵) 船運で栄えた江戸時代には県内最大級の河岸集落があり、多くの船が行き交っていました。その時代をしのぶ風景を最上川の護岸に再現しており、対岸の風景が眺められます。「五月雨を集めて涼し最上川」の発句は、この地の船問屋である高野栄宅の倉庫敷で誕生しました。	【コメント】 銀山温泉 銀山川の両岸には、三層四層の木造バルコニー建築の旅館が立ち並び大正ロマン漂わせている。そのため、この光景を守るため、町並みを保存する条例が定められている。NHK連続ドラマ「おしん」の舞台となったことで一躍脚光を浴び、全国的にその名を知られることになった。海外からの観光客も多く山形を代表する温泉地のひとつである。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
【コメント】 堺田分水嶺(最上町堺田) 東北地方の背骨とも言える奥羽山脈の水が日本海側と太平洋側に分かれるさまを正に目撃できる場所でもあります。通常、分水嶺は奥深い山中にあるために、ほとんど目にする事ができません。堺田分水嶺は、標高338mにあります。そのため、誰もが気軽に見れる非常に珍しい分水嶺であります。	【コメント】 芭蕉乗船の地(新庄市本合海) 元禄2年3月27日、俳聖芭蕉は、江戸深川より會良とともに旅立ちました。かの有名な奥の細道の始まりです。その後6月3日(旧暦)に、ここ本合海より乗船し最上川の舟上の人となりました。「五月雨をあつめて涼し最上川」の発句が、舟下りを体験し「五月雨をあつめて早し最上川」と推敲されました。	【コメント】 最上川舟下り(最上郡戸沢村) 山形県の母なる川である最上川。日本三大急流である最上川。義経と弁慶がさかのぼり、芭蕉が下った最上川。そのような歴史に思いをはせながら県立公園でもある最上峡をユーモア溢れる船頭とともに一時間かけてゆっくり安全に下ります。お客様の笑顔を求めて365日営業中。他の舟下りとは一味違う舟下りを体験できます。

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 2月15日

【応募者】 団体名 : 特定非営利活動法人 遊佐鳥海観光協会 所在地 : 山形県飽海郡遊佐町遊佐字石田19-18 TEL/FAX : TEL 0234-72-5666 FAX 0234-72-3999 担当者 : 東海林 弘之 メールアドレス : master@yuzachokai.jp 登録旅行業 : 第 3 - 254 号 (旅行者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">1 3</div>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
鳥海山山麓名瀑めぐり	山形県・秋田県	山形県遊佐町 山形県酒田市 秋田県にかほ市 秋田県由利本荘市
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 鳥海山に降る豊富な雨や雪は見事な滝となって現れ、訪れる人を癒してくれます。鳥海山を取り囲む3市1町にはそれぞれに名瀑があり、新緑、避暑、紅葉といずれの時期もそれぞれの趣きがあります。		

【日程】	1. 日帰り (2) 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()		
【旅の目的】	日本百名山の一つ、鳥海山が造り出す名瀑と、四季が織りなす風景鑑賞。マイナスイオンを全身に浴びて、心とからだをリフレッシュ!		
【実施時期】	(春) (夏) (秋) 冬・通年 / (実施時期:)	【催行人員】	20名 (最少催行人員: 10名)
【原価】	内 訳		
	19,400円 (大人1名)	交通費用 (バス代) 85,000円 宿泊費用 (1泊2食) 8,600円 ガイド費用 (2日間) 20,000円	旅行傷害保険 300円 企画料 100円
【販売価格】	19,500円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	大人1名 19,500円	【子供料金】 有 (15,500円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

鳥海山を取り囲む3市1町各地の名瀑を鑑賞、また神秘に包まれた丸池様の幻想的な景観を堪能。心を和ませ癒しの旅を!

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】			
① 遊佐町役場産業振興課 観光物産係 /	⑤ 鳥海やわたインタープリター協会 /		
② (社) 酒田観光物産協会 /	⑥ /		
③ (社) にかほ市観光協会 /	⑦ /		
④ 由利本荘市観光協会 /	⑧ /		

【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【特記事項】	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	酒田駅(9:00) ===== (9:30)十二滝(10:00) ===== (10:50)玉簾の滝(11:20) ===== (11:50)道の駅鳥海「ふらっと」(13:00) ===== (13:10)丸池・牛渡川(13:30) ===== (14:00)一・二ノ滝(15:30) ===== (16:00)宿
2日目	宿(8:00) ===== (9:40)法体の滝(10:20) ===== (11:40)道の駅象潟「ねむの丘」(12:50) ===== (13:00)奈曾の白滝(13:20) ===== (13:25)元滝(13:50) ===== (14:10)象潟駅
3日目	
4日目	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【コメント】 〈十二滝〉 その名のとおりに12段の滝から構成されており、飽海三名瀑のひとつにも数えられています。水しぶきや水の流れによりそれぞれ違った表情を見せてくれます。</p>	 <p>【コメント】 〈玉簾の滝〉 酒田市八幡地区にある落差63m、幅5mの県内随一の高さを誇る直瀑で、陽の光で玉の簾のように見えることからこの名がついています。春と夏にはライトアップされ、幻想的な姿が印象的です。</p>	 <p>【コメント】 〈道の駅鳥海「ふらっと」〉 採れたての山菜や野菜、天然岩ガキなど魚介類の産直が好評です。また、「味の駅」ではラーメンと手づくり餃子、「ベーカリー工房ほっぽ」では焼ききたてパンが人気です。四季折々のうれしい遊佐に出会える道の駅です。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>ニノ滝</p> <p>【コメント】 〈一・二ノ滝〉 月光川の上流にある渓谷。大きな岩とブナを主とする広葉樹林が織りなす景観をそれぞれの季節で楽しむことができます。また、毎年2月には凍りついた二ノ滝を見学するイベントも行われます。</p>	 <p>【コメント】 〈法体の滝〉 秋田県の名勝及び天然記念物に指定され、「日本の滝百選」にも選ばれている名瀑です。流長100m、落差57mのこの大滝は、鳥海山の雪解け水や雨水を集めながら、その山に向かい合って落ちる滝で、全国でも珍しいといわれています。</p>	 <p>【コメント】 〈元滝〉 苔むした岩肌を勢よく幾筋も流れ落ちる鳥海山の伏流水。林をぬけて、目にした瞬間、その神秘的な姿に感動を覚えます。また、晴れた日には霧がたちこめ、普段とは違った神秘的な姿を見せてくれます。</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月26日

【応募者】 団体名 : 七ヶ宿町観光協会 所在地 : 宮城県刈田郡七ヶ宿町字関126 TEL/FAX : TEL0224-37-2177 FAX024-3-2468 担当者 : 渡部光昭 メールアドレス : shichi23@town.shichikashuku.miyagi.jp 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : ー	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h1 style="color: red;">14</h1>
--	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
水守の郷・七ヶ宿/あなたの中に眠っている「山・水・木々物語」ここに 있습니다。	宮城県	七ヶ宿町
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
ダム及びダム湖周辺を含む、食を絡めた源流ツーリズム		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. <u>二泊三日</u> 4. その他 ()	
【旅の目的】	炭焼きは地球を救う	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期:)	【催行人員】 名 (最少催行人員: 2名)
【原価】	内 訳	
18,900円 (大人1名)	宿泊一泊 5,500円×2日=11,000円 一日目水歴入館料 310円・釜戸体験 1,000円・炭焼き体験 1,000円 二日目監査廊・レンタサイクル体験 1,000円・昼食(トッピングピザ) 1,000円・カヌー体験 1,000円 三日目路線バス 400円・昼食おにぎり 300円・癒しの森トレッキング体験 1,000円 事務費 890円	
【販売価格】	円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

七ヶ宿町は、仙台市など183万人の水源地として「七ヶ宿ダム」を擁する水源の町であります。

七ヶ宿ダムに水がためられて20年余り、長い歴史の中でこの町は水を守る使命を担い、町をあげて水守の郷づくりを行っています。

町内の団体「水守の会」では、水守林づくりとして、山の手入れをし、間伐した材料で炭を焼き、焼いた炭を元の山に撒いて還元する活動を行い、「水づくりは森づくり」として、参加者を集い森林の大切さを七ヶ宿から発信しています。

ここで、商品のご紹介。到着したらまず、水源の町で置きた炭を行ってまいります。

「大人の山がっこ」体験と銘打った体験メニューをご用意しております。

- ・自ら薪集め、薪割りそして釜戸ご飯づくり(昔懐かしいハガマで)
- ・本格的な土窯から日帰り用の石窯・ドラム缶窯で炭焼きを体験し汗をかき(後ほど焼いた炭はできあがり次第プレゼントで送ります)
- ・地元の食材をチョイスして、湖畔のピザ屋で本格石窯ピザを食べよう。
- ・七ヶ宿湖周辺の森林トレッキング・水辺のカヌー体験等、人数に応じたメニューが盛りだくさんをご用意しております。

冬期間は80~200℃に達する県内でも有数の豪雪地帯、という厳しい条件の中で水源ならではの知恵で、田舎かあちゃんのお宿「民宿大川屋」がお客様を「おもてなし」してくれます。

長老エリア・標高550mの高原にある長老湖は、長さ500m、周囲約2キロの自然遊歩道があり、蔵王山麓の神秘的な湖があります。横川溪谷に架かる長さ120mある「やまびこ吊り橋」からの蔵王山麓の景観はまさに絶景と言えます。なおかつ、近くの集落では、今なお清らかな湧き水の小川の上に、小屋を建てた「かわばた」という、外の台所として利活用している。中では、農作物を洗ったり、道具を洗ったり、漬け物樽が年中置いてあり、日常生活には欠かせないのが「水」です。

以上のとおり、極めて「水」「自然」が豊かで、そこに住む「人」が大切にしてきた癒しの空間「水守の郷・七ヶ宿」があります。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】


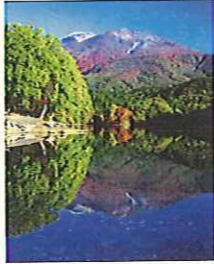







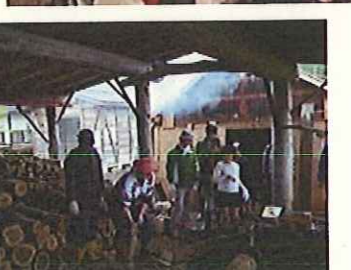
① 七ヶ宿町観光協会 / 各種団体の連絡調整・ガイド等	④ 旅行村運営友の会/森林トレッキングガイド
② NPO法人水守の郷・七ヶ宿/大人の山がっこ体験	⑤ 七ヶ宿観光タクシー/路線バス
③ 道の駅「七ヶ宿」/食材提供	⑥ 民宿大川屋/宿泊

【催行日程】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【観光ポイント】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【特記事項】

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】  	【ポイント2】  	【ポイント3】 
【コメント】 標高550mの高原にある長老湖は、長さ500m、周囲約2キロの自然遊歩道があり、蔵王山麓の神秘的な湖があります。せせらぎの里では、清流を使った味噌・豆腐が味わえる	【コメント】 本格的な土窯から日帰り用の石窯・ドラム缶窯があります。定期的にダムの流木や間伐材を炭に焼いています。見学や体験が出来る施設です	【コメント】 七ヶ宿公園内の樹木に土壌の改良や水質の浄化の高い「炭」をまき、健康な山や森づくりにつなげる活動を行っています。
【ポイント4】  	【ポイント5】  	【ポイント6】  
【コメント】 「大人の山がっこ」の一つとして、薪割りを始め釜戸のご飯炊きから、汁作りなど大自然の青空の下、ダイナミックな味を満喫して頂きます。	【コメント】 七ヶ宿湖では、水辺の生き物探索や、カヌー体験など水と親しむ、イベントを企画し利水市町の皆さんとの交流を行っています。	【コメント】 散策路を歩いて集めた薪で火をおこし、薪割りを体験してみよう、汗を一緒にかきましょ

【行程表】

1日目	AM10:00 予定 七ヶ宿公園……水守の郷・七ヶ宿(寺子屋)……水と歴史の館……民宿 散策路置き炭・薪割り・炭焼き・釜戸炊飯
2日目	民宿……虎岩公園・ダム展望台・七ヶ宿ダム管理所……ピザ屋……七ヶ宿公園……民宿 監査廊探検 レンタサイクル カヌー体験
3日目	バス 民宿……長老湖・やまびこ吊り橋・南蔵王青少年旅行村……せせらぎの里……関宿 湧き水あり 昼食

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月1日

<p>【応募者】</p> <p>団体名 : NPO法人 土湯温泉観光まちづくり協議会</p> <p>所在地 : 福島県福島市土湯温泉町字上ノ町1</p> <p>TEL/FAX : TEL024-595-2217 FAX024-595-2016</p> <p>担当者 : 池田和也</p> <p>メールアドレス : boo_123.jp@yahoo.co.jp</p> <p>登録旅行業 : 第3-313号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。)</p> <p>(ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 :</p>	<p>国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄</p> <p>(記入不要)</p> <p>15</p>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
<p>日本一の清流 ふくしま荒川を訪ねて</p> <p>— 土湯温泉お宝発見 —</p> <p>【活かそうとしている「水」の特性・特徴】</p> <p>国土交通省直轄河川の中で、清流日本一に4度認定されている。同様に環境省においても1度認定されている。平成20年には平成の名水百選にも認定された。湧水の水質は、軟水で飲み口が柔らかく、コーヒーや日本茶、和食に最適とされることから、この湧水による料理や商品提供を進めている。また、荒川の湧水の役割を体験型環境教育プログラムとして構築し、体験型教育旅行に造成予定である。</p>	福島県	土湯温泉

【日程】	①. 日帰り ②. 一泊二日 ③. 二泊三日 ④. その他()		
【旅の目的】	国土交通省直轄河川の中で、清流日本一の認定を受けた「ふくしま荒川」の湧水を利用した料理や商品を提供し、この荒川源流域にある土湯温泉の源泉での「温泉と水とエコ」をコラボした手づくり体験プログラム(温泉噴気蒸し料理づくり体験や砂防堰堤のしくみ体験、森林保水力体験、水質・マイナスイオン測定体験等)を楽しんでもらう旅行商品を造成している。		
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期:)	【催行人員】	10名(最少催行人員: 2名)
【原価】	750~4,250円 (大人1名)	仕入原価 250~3,700円 企画手数料 500円 ※送迎が発生する場合は、別途加算	内訳
【販売価格】	1,000円(が'付'付) 1,800円(ガイド付・昼食付) 4,500円(専門ガイド付・昼無) (旅行業登録のある場合のみ記入)	大人1名	【子供料金】 有(100円/1名 昼無し)・無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

- 【商品のセールスポイント】
- ①日頃立入禁止となっている地域に入場でき、噴気上がる源泉施設を見学したり、神秘的な荒川渓谷を散策することができる。
 - ②土湯温泉独特の湧水を利用した噴気造成泉のしくみや温泉効能を体験学習的に知ることができる。
 - ③温泉噴気による蒸し料理づくり(地域特産の食材と荒川の湧水を活用した蒸し鶏肉・温泉まんじゅう・蒸かしつまいもなど)体験ができる。
 - ④源泉から湧き出る温泉で温泉たまごづくり体験をしながら、足湯を楽しむことができる。
 - ⑤源泉施設の噴気と地熱は、地球が生きているという実感を体験し、この温泉資源と保水力のしくみを学ぶことができる。
 - ⑥日頃源泉を管理している者が「花・生物等に詳しい専門が'付'」の2コースがあり、滞在時間や体力に応じて選択できる。
 - ⑦温泉街には足湯4ヶ所やつり橋があり、こけしの絵づけの伝統工芸もできるお店もあり、宿泊時は「温泉と水とこけし」の街を散策できる。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】			
① 土湯温泉観光協会	／募集宣伝告知	③ 国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所/砂防堰堤	
② 土湯温泉旅館事業協同組合	／宿泊滞在	④ 湯遊つちゆ温泉協同組合	／源泉施設対応

【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【特記事項】	春・夏・秋の3シーズンには、源泉探訪を入れた1泊2日・2泊3日コースの宿泊滞在商品もあり。(宿泊料金別途) ・春は「花めぐりと源泉探訪」 ・夏は「荒川源流域 夏休み体験」 ・秋は「紅葉と清流荒川源流体験」/「落ち葉セラピーツアー」

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目 (日帰りの場合含む)	<p>源泉着 11:00 徒歩 → 源泉で温泉たまごづくりセット → 源泉温泉噴気、荒川清流体験 → 噴気蒸し料理づくり</p> <p>(源泉内見学前に温泉にたまごセット) (源泉井戸のバルブを開け、地中からの噴気見学) (鶏肉、さつまいもや饅頭を蒸す)</p> <p>→ 源泉足湯(昼食・自由時間) → 源泉発 14:00 徒歩 → 旅館着(宿泊の場合) → 夕食・自由時間(夜の散歩)</p> <p>(足湯につかりながら手づくり料理で昼食) (夕食後、うつけ(荒川渓谷・聖徳太子堂・熊野神社・足湯「下ノ湯」)</p>
2日目	<p>旅館発 10:00 徒歩 → 足湯めぐり・昼食・こけし絵づけ → 土湯発 13:30 → 福島到着</p> <p>(足湯4ヶ所・ひさごカフェ・こんにやく工房金鈴館・お土産屋さん) (路線バスが無料送迎バス(宿泊者限定))</p>
3日目	※2泊、3泊滞在の場合は、季節に応じて、荒川源流域トレッキングやその他ハイキングプランや湯めぐりプランの行程を組み込む
4日目	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【コメント】 国道115号線から土湯温泉町へ入ってくると見える土湯温泉の象徴的な景観。 中央に流れる川は、国土交通省直轄河川の日本一の清流ふくしま荒川。 この景観は、春夏秋冬ごとに衣替えし、土湯温泉を印象づける景観です。</p>	 <p>【コメント】 温泉街の近くにある「親水公園」。この公園には「足湯」やつり橋(滝のつり橋)、壮大な砂防堰堤があり、マイナスイオン豊富な公園としてアピールしています。 温泉街から徒歩で20分くらいで周遊できる公園なので、宿泊客の朝の散歩コースでもあり、日帰り観光客の憩いの場です。</p>	 <p>【コメント】 毎年夏休みになると、荒川に仮設した池にイワナを放流し、親子でさかなつかみ体験をしたり、水辺に生息する水棲探しを親子で実施しています。捕獲したイワナはその場で焼いて食べることもできます。 荒川上流部は、砂防堰堤も点在し、大きな瀑布もあるので初めて訪れる方にとっては驚きと感動を与えます。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>【コメント】 源泉探訪の始まりに、実際にたまごを温泉につける体験。(70度の温泉で約20分で出来上がり) 源泉探訪の最後に、源泉足湯につかりながら、この出来上がったばかりの温泉たまごを食べるのも人気です。 ほんのりと甘い温泉たまごは、旅館料理で食べるよりも一味も二味も違うという感想です。 昼食なしの日帰り参加(1000円)の場合は、この温泉たまごを蒸かしつまいもや蒸かしとうもろこしが付きます</p>	 <p>【コメント】 平成21年の11月に荒川源流域からの湧水を利用して製造した「土湯の水」(500ml)です。 源泉探訪の最後に、源泉足湯につかりながら、この出来上がったばかりの温泉たまごを食べるのも人気です。 ほんのりと甘い温泉たまごは、旅館料理で食べるよりも一味も二味も違うという感想です。 昼食なしの日帰り参加(1000円)の場合は、この温泉たまごを蒸かしつまいもや蒸かしとうもろこしが付きます</p>	 <p>【コメント】 源泉探訪の圧巻は、1号源泉と言われる源泉井戸。この井戸の周囲からは常に噴気が立ち上がっているが、実際に井戸から吹き上がる噴気をバルブを開けて噴出させる実演をしています。(温度は150度) さらに、この温泉噴気と荒川源流域の湧水を混合して温泉を作る噴気混合泉のしくみを説明したり、この温泉の熱量が二酸化炭素排出対策に役立つことなどの説明が、現地ガイドからなされます。</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

22年 2月 9日

【応募者】 団体名 : 二本松観光協会 所在地 : 福島県二本松市金色403番地1 TEL/FAX : TEL 0243-55-5095 FAX 0243-22-8533 担当者 : 三浦一弘 メールアドレス : _____ 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h1 style="color: red; font-size: 2em;">16</h1>
--	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
名峰安達太良山の清流、瀑布群を訪ねる…美肌の湯「岳温泉」 湯川渓谷、烏川渓谷…マイナスイオン満喫	福島県	安達太良山 岳温泉 安達太良高原
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
安達太良山系の清流： 渓谷、滝、湧水		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	
【旅の目的】	100名山の一座「安達太良山」と清流、瀑布群の探訪 (渓谷美、瀑布群、ミズナラ・ダケカンバ等の樹林帯) 東北の名湯・美肌の湯「岳温泉」 安達太良高原の清流を巡るパワーウォーキング	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期:)	【催行人員】 40名 (最少催行人員: 30名)
【原価】	内 訳 送迎バス借上げ料 70,000円 登山ガイド 15,000円×2人、パワーウォーキングインストラクター 6,000円×2人 小計 112,000円 ÷30人=3,800円 1泊3食清涼飲料付 1人当たり 16,000円 旅行保険 1,000円 山小屋休憩料 400円	
【販売価格】	円 大人1名	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
名峰安達太良山の魅力を存分に堪能できる。(渓谷美、瀑布群、広葉樹林、温泉のある山小屋、源泉地、森林浴、新緑、紅葉) 東北の名湯・美肌の湯「岳温泉」でゆったりくつろぎ。 さわやかな安達太良高原でパワーウォーキング (健康ウォーク) にチャレンジ ※季節により、桜の名所探訪、ホテル鑑賞、農業体験、菊人形等のオプション多数・延泊可		
【企画協力 (後援) 機関・団体名/主な役割】		
① 岳温泉観光協会	／宿泊・ウォーキング	⑤
② あだたら山の会	／トレッキング	⑥
③	／	⑦
④	／	⑧
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	荒天時は、湧水10選めぐり、名木・古木めぐり、そば打ち体験と実食、写経と座禅など代替コースを用意しており、お好みで選択可。	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	岳温泉観光協会集合 9:30 (希望により最寄り駅まで迎可) ⇒バス 塩沢登山口 (10:00) → 湯川渓谷 (溪流、瀑布群、広葉樹林) → くらがね小屋 (昼食 12:30~14:00 入浴可) → 勢至平 → 烏川遊歩道 (15:30) → 奥岳登山口 (16:30) ⇒バス 岳温泉観光協会 (17:00) 泊 岳温泉 ホテル・旅館
2日目	岳温泉観光協会集合 9:00 → パワーウォーキング指導 → ウォーキング 9:30 (岳ダム、江戸期の用水路・二合田用水、夏無川) 12:00 → 岳温泉観光協会解散 (希望により最寄り駅まで送可)
3日目	
4日目	

【主な観光ポイント (観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
湯川渓谷 八幡滝 	湯川渓谷 三階滝 	湯川渓谷 屏風岩 
【コメント】 湯川渓谷最大の滝。	【コメント】 三段に落ちる滝	【コメント】 小休止の最適。眺望よし。眼下に相恋の滝を望める。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
湯川渓谷 相恋の滝 (夏) 	相恋の滝 (秋) 	くらがね小屋 
【コメント】 屏風岩から見下ろす滝	【コメント】 紅葉がきれいな滝	【コメント】 温泉のある山小屋。日帰り入浴可。もちろん宿泊も可。

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来など） 】		
<p>【 ポイント7 】</p> <p>鳥川遊歩道 魚止の滝</p> 	<p>【 ポイント8 】</p> <p>鳥川遊歩道 昇竜滝</p> 	<p>【 ポイント9 】</p> <p>鳥川遊歩道 平滑床</p> 
<p>【コメント】</p> <p>鳥川遊歩道の釜付き滝の代表</p>	<p>【コメント】</p> <p>遊歩道から急流が望める</p>	<p>【コメント】</p> <p>鳥川遊歩道の滑滝の代表</p>
<p>【 ポイント10 】</p>	<p>【 ポイント11 】</p>	<p>【 ポイント12 】</p>
<p>観光箇所の画像などを添付</p>	<p>観光箇所の画像などを添付</p>	<p>観光箇所の画像などを添付</p>
<p>【コメント】</p>	<p>【コメント】</p>	<p>【コメント】</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

22年 2月25日

【応募者】 団体名： 福島県大沼郡金山町 所在地： 福島県大沼郡金山町大字川口字谷地 393 TEL/FAX： TEL 0241-54-5327 FAX 0241-54-5335 担当者： 地域振興課 農林観光係 押部邦昭 メールアドレス： kanko@town.kaneyama.fukushima.jp 登録旅行業： 第 ー 号 (旅行者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号：	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">17</div>
--	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
水のふるさと「奥会津かねやま」の旅 / 多彩な水、その「かたち」と「ちから」を訪ねて	福島県	金山町
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 ・ 空からの水が豊かなブナ林を育て、里山に恵みをもたらします。 ・ 大きな流れとなった水を利用した発電ダムが、街に住む人を支えています。 ・ 地下から湧出する天然炭酸水や炭酸含有温泉が人の生活に安らぎを与えます。 ・ 水がその「かたち」と「ちから」を多様に変え、人々の暮らしを支えています。		

【日程】 1. 日帰り (2. 一泊二日) 3. 二泊三日 4. その他 ()

【旅の目的】
 国内屈指の豪雪地帯である只見川上流域を訪ね、人々の暮らしと水の関わりを楽しみながら体感し、水の循環システムや地球環境の大切さを学んでいただく。具体的には、「癒」「食」「学」をキーワードに、町内の水資源スポットを巡り、水の恵みに感動していただく。
 「癒」・水の源、広大なブナ林から発せられるフィトンチットが、訪れる旅人に癒しと安らぎを与えます。
 ・ せせらぎ、清流、大河、川霧など多彩な「水のかたち」を見て、日本の原風景を体感できます。
 「食」・日本有数の豪雪地帯の気候風土と、ミネラル豊富な水で作る「大源流米」をその水田で食してもらいます。
 「学」・尾瀬を源流とする全国有数の発電地域で、クリーンなエネルギーを学んでもらいます。
 (白洲次郎が建設に情熱を傾けた上田発電所、沼沢湖と只見川の水位差を利用した第二沼沢揚水発電所)

【実施時期】 春・夏 秋・冬・通年 / (実施時期：) **【催行人員】** 25名 (最少催行人員：20名)

【原価】	内訳
36,000円 (大人1名)	① JR 通賃 (東京～新白河、会津中川～東京) 7,840円 ② JR 特急券 (東京～新白河、越後湯沢～東京) 6,060円 ③ 貸切バス (中型2日間、繁忙期料金+20名として) 8,500円 ④ 宿泊 9,000円 (一泊) ⑤ 昼食 (弁当1回、食堂1回) 2,300円 ⑥ 雑費 (ロウソク作りほか) 2,300円

【販売価格】 円 大人1名 **【子供料金】** 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】
 国内でも有数の豪雪地帯である当町は、世界的にも希少な雪食地形が見られます。水はその麓にあるブナ林に蓄えられ、せせらぎから清流へ、そして満々と水をたたえる只見川へと注ぎこまれています。この旅では通常の個人旅行では見ることができない松坂峠のブナ林「癒しの森」、大塩炭酸泉の井戸、滝沢川「おう穴」群、第二沼沢発電所 (揚水発電)、上田発電所、只見川の川霧などその姿を変えて流れる一連の「水のかたち」を一度に体験することができます。
 また、ローカル鉄道と大自然が只見川の水面に映る絶景の中を走り、鉄道ファン憧れの JR 只見線を行程に組み入れました。
 町内には全国的に希少な天然炭酸水、炭酸含有温泉、沼沢湖 (カルデラ湖)、多くの水力発電施設など他にはない素材が多くあるものの、メジャーな観光スポットにはなっておらず、それだけに神秘的な雰囲気が残っています。
 この旅は、これまでの名所・旧跡の観光から、広く紹介されていない地域の水の宝を地域の人が丁寧に案内する新たな提案です。

【企画協力 (後援) 機関・団体名/主な役割】

① 金山町役場 地域振興課	／企画、総括	⑤ 会津若松建設事務所	／企画、ルート案内
② 金山町観光情報センター	／企画、総合案内、通訳	⑥ 奥会津カヌークラブ	／カヌー体験
③ 横田コミュニティ	／癒しの森、案内説明	⑦ 東北電力会津若松支社	／発電施設案内説明
④ 大塩地区天然炭酸水保存会	／炭酸水、案内説明	⑧	／

【催行日程】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー
【観光ポイント】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー
【特記事項】 対象は小学生以上。 外国人対応可能 (英語圏ほか)。 第二沼沢発電所の内部見学は事前予約が必要です。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】						
1日目	東京駅	やまびこ 205号	新白河	バス 松坂峠ブナ林「癒しの森」散策・昼食	大塩炭酸泉井戸	滝沢川「おう穴」群
	7:40		9:07 / 9:20		12:20 / 13:30 (郷土色豊かなお弁当)	14:00 / 14:20 14:30 / 15:15
2日目	横田地区「大源流米」水田見学	(「四季彩橋」経由)	玉梨・八町温泉			
	15:30 / 16:00 (おにぎりでおやつ)		16:20			
2日目	玉梨・八町温泉	太郎布高原アザキ大根 / ソバ畑	沼沢湖カヌー体験 or 湖畔散策	第二沼沢発電所見学		
	8:30	8:50 / 9:10	9:20 / 10:50	11:05 / 11:45		
	上田発電所	こぶし館 / ゆうゆう館 (徒歩)	JR 会津中川駅	JR 只見線	小出	JR 上越線
	12:00 / 12:45	12:55 / 15:00 (そばの昼食、郷土資料館見学、只見川沿い散策、温泉入浴)	15:05 / 15:17	17:42 / 18:32		
越後湯沢	とき 346号	東京				
19:13 / 19:30		21:00				

【主な観光ポイント (観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【コメント】松坂峠のブナ林「癒しの森」 松坂峠周辺には300haの国有林があり、広大なブナ林が広がっている。冬季間は3m以上の積雪があり、ブナの森に蓄えられた水が長い年月を経て里へ流れています。付近の集落には「磨崖仏」があり、9月の祭日には地元住民による農民歌舞が上演されています。</p>	 <p>【コメント】大塩地区炭酸泉井戸 明治初期にはこの炭酸水が薬になると評判になり、他県からも病人が訪れたと伝えられています。 国内で天然の炭酸水が湧出する場所は極めて珍しく、現在は地元の人々が飲用するほか、商品としても販売されています。</p>	 <p>【コメント】滝沢川の「おう穴」群 滝沢川に見られる「おう穴」は県内最大規模と言われていて、山から湧き出した水が勢いを増し、長い年月をかけて岩が削られた自然の造形美を見ることが出来ます。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>【コメント】野尻川の足湯 金山町内の温泉はほとんどが炭酸含有温泉で源泉100%掛流し温泉です。 写真は野尻川の中に温泉が湧出する場所で、鮎釣りをしながら清流の音に包まれて足湯を楽しむことができます。</p>	 <p>【コメント】町内にある水力発電施設 町内には発電施設が5箇所あり、いずれも水の力を利用したものです。 満々と水を湛えた只見川は、生命の源であると共に、人々の生活に欠かせない電気の源にもなっています。 (写真は上田発電所)</p>	 <p>【コメント】只見川の川霧とJR只見線 只見川は尾瀬を源流とする川で、豊富な水量を利用した電源開発が進められました。 気温が低いときや水温と気温の温度差が大きいときは川霧が発生し、只見川周辺は幻想的な景観となることから、写真愛好家の人気が高い場所となっています。</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月24日

【応募者】 団体名 : 片品村観光協会 所在地 : 群馬県利根郡片品村鎌田3964 TEL/FAX : TEL 0278-58-3222 FAX 0278-58-3213 担当者 : 宮崎晴郎 メールアドレス : katashina@oze-info.com 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : ー	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h1 style="color: red;">18</h1>
--	---

【タイトル/サブタイトル】 尾瀬の郷片品村にて環境省認定「平成の名水百選」湧水群めぐり / & 水源林トレッキングと高原野菜収穫、料理体験を満喫！	【都道府県名】 群馬県	【観光地域名】 尾瀬の郷 片品村
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 環境省認定「平成の名水百選」に選ばれた、何十年もの年月を経て湧き出した名水群。水質は軟水が中心。また、湧出量が豊富なため片品村では全戸の水道水で全て湧水を利用しているほどです。		

【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()

【旅の目的】 豊かな自然の源である名水(湧き水群)めぐりと水源林トレッキングを通して、訪れるお客様の「健康増進」とその「きっかけ」作りに資すること。同時にレベルが高い高原野菜料理と豊富な温泉群での「温泉浴」も楽しんでいただきます。

【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 6月中旬~10月初旬) **【催行人員】** 25名 (最少催行人員15名)

【原価】 * 15名様: 18,000円~ * 25名様: 16,000円~ ■ 旅行会社対応可です。 ■ 子供は1,300円割引~ (大人1名)	内 訳	
	■ 着地型ツアーのためJR沼田駅または上毛高原からの現地費用のみ記載 ・バス(1泊2日)1台52,000円~・宿泊(1泊2食)6,500円~・現地ガイド(2日)20,000円~ ・武尊牧場リフト(往復)1,000円・バーベキュー1,200円~・収穫&料理体験2,000円~・温泉入浴代500円~ ・尾瀬岩鞍ユリ園900円~・湧水持ち帰り用ペットボトル代150円~・旅行保険170円~ □個人の受け入れも可能、ご希望があれば、村内/外交通(バス・観光タクシー等)の手配も承ります。	

【販売価格】 円 大人1名 **【子供料金】** 有 (/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

- 環境省認定の「平成の名水百選」に選ばれた湧水群めぐり(その場で飲んだりペットボトル等で持ち帰りが可能です。)
- 水源林のひとつである上州武尊(ほたか)牧場「三合平」ブナ・白樺の原生林トレッキング
- 標高が高いため寒暖の差が大きく、また水が良いため高原野菜の質的レベルが高く、その収穫・料理体験(ご自身で作ったものを昼食として食べていただきます。)
- 温泉が豊富にあるので温泉浴
- 村内季節ごとの自然散策(水芭蕉の森・大清水湿原・尾瀬岩鞍ユリ園・丸沼等) * ご希望があれば尾瀬のヘルスツアーも対応可能

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】

① 片品村役場むらづくり観光課 / 後援	⑤	/
② 片品村ヘルスツーリズム研究会 / 後援、データ提供	⑥	/
③ 片品村山岳ガイド協会 / 現地ガイド、尾瀬ガイド	⑦	/
④ 片品村農協 / 体験、現地ガイド	⑧	/

【催行日程】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【観光ポイント】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【特記事項】 グリーン・エコ・ヘルスツーリズムに積極的に取り組んでいる村で豊かな自然が最大のセールスポイントです。また、片品村は尾瀬最大の入山口にあり、ご希望があれば尾瀬ヶ原のヘルスツアー(身体・メンタル共)にも対応が可能。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	午前: 専用車にてJR沼田駅または上毛高原駅発(所要: 沼田約1時間・上毛高原約1時間30分) 片品村の上州武尊(ほたか)牧場スキー場(リフト乗り場)へ 夏山リフトを2本乗り継いで(約30分)、標高約1,500mの三合平へ 昼食はバーベキューを召し上がっていただきます。 昼食後、約3km(約90分)のブナ・白樺原生林トレッキングをお楽しみください。 帰路、牧場下近くの武尊湧水へご案内いたします。 夕方: 宿着(宿または日帰り温泉にて温泉浴)
2日目	午前: 専用車にて当ツアーハイライトの湧水群(2~3箇所)めぐりをお楽しみいただきます。 昼食は、村内体験施設にて高原野菜の収穫・料理体験後、ご自身で料理したものを味わっていただきます。 午後: 季節ごとの村内自然散策(水芭蕉の森・大清水湿原・尾瀬岩鞍ユリ園・丸沼等)をお楽しみください。 片品村中心地鎌田の花の谷湧水にてお土産用の湧水を汲んで、JR沼田駅または上毛高原駅へ 夕方: JR沼田駅または上毛高原駅にて解散。お疲れ様でした。
3日目	
4日目	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】 上州武尊牧場スキー場最上部にある三合平は標高約1,500メートルにあり、ここから武尊山への登山道沿いにブナ・白樺等の水源林が広がっていて、トレッキングに最適。6月下旬ころはレンゲツツジの群生地としても有名。	【コメント】 武尊(ほたか)湧水 大量に湧き出る本物の湧水を目の当たりで見られ、触れることもできる村内唯一の場所です。	【コメント】 丸沼高原湧水 北関東以北最高峰の日光白根山からの伏流水で村内の最も高いところの水場です。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
光箇所の画像などを添付	観光箇所の画像などを添付	観光箇所の画像などを添付
【コメント】	【コメント】	【コメント】




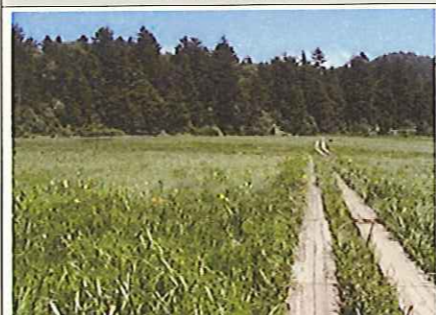


【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月25日

【応募者】 団体名 : 片品村役場 所在地 : 群馬県利根郡片品村大字鎌田3967-3 TEL/FAX : TEL 0278-58-2112 FAX 0278-58-2110 担当者 : むらづくり観光課 永井 利和 メールアドレス : nagai-t@vill.katshina.lg.jp 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : ー	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h1 style="color: red;">19</h1>
---	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
尾瀬国立公園と湧水めぐりの旅 ～会津沼田街道 徳川時代から幕末の痕跡を辿る～		
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
○尾瀬国立公園内の手つかずの水環境 ○平成の名水100選に認定された「尾瀬の郷片品湧水郡」めぐり		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 (3泊4日)	
【旅の目的】	○尾瀬国立公園の大自然、手つかずの水環境や生態系を観察し、時代・歴史を感じながら散策することを目的とする。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期:)	【催行人員】 20名 (最少催行人員: 8名)
【原価】	内訳 1日目: 宿泊費8,500円 レクチャー・その他500円 2日目: バス代900円 宿泊費8,500円 昼食費1,000円 3日目: 昼食費1,000円 ガイド料金2名2日分 (100,000円÷20名=5,000円) 宿泊費8,500円 33,900円 (大人1名)	
【販売価格】	円 大人1名	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】	尾瀬国立公園を尾瀬ヶ原・尾瀬沼と回り散策をしてだけでも十分にツアーとして成り立つものに、さらに付加価値として会津沼田街道も同時に巡るという歴史的要素も取り入れる。 会津沼田街道は徳川時代(1600年頃)初代沼田城主の真田信幸が戸倉に開所を設け路の整備を行い会津川と上州川の交易として使われていた。 また、幕末の戊辰戦争(1868年)には会津軍と征東軍が会戦するが侵攻に備え会津軍が防塁を大江湿原に築きその名残が今に残る。しかし交戦になったのは戸倉地区で部落が焼かれ開所も焼失したとされる。 このような歴史的背景なども盛り込んだ「現代と過去」を体感できるツアー	
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】	① 片品村役場 むらづくり観光課 / 総括 ⑤ / ② 片品村観光協会 / 宿泊手配 ⑥ / ③ 片品山岳ガイド協会 / 尾瀬ガイド ⑦ / ④ / ⑧ /	
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	○季節に応じて尾瀬国立公園内の状況は変化しますので、春から秋までの間同じ条件での企画にはなりません、考え方をとると何度お越しいただいても違った風景などをご覧いただけりリピートして頂ける企画になると思います。	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	13:00着 群馬県片品村戸倉着 → 14:00～ 開所(尾瀬ぶらり館)見学「戸倉湧水」 → 15:00～ 尾瀬山愚楽(尾瀬の歴史・レクチャー)	
2日目	16:30着 尾瀬ヶ原 → 16:30着 尾瀬ヶ原 → 17:00着 尾瀬ヶ原 → 18:00着 尾瀬ヶ原 → 19:00着 尾瀬ヶ原 → 20:00着 尾瀬ヶ原 → 21:00着 尾瀬ヶ原 → 22:00着 尾瀬ヶ原 → 23:00着 尾瀬ヶ原 → 24:00着 尾瀬ヶ原	
3日目	6:00発 尾瀬ヶ原 → 6:30着 尾瀬ヶ原 → 7:00発 尾瀬ヶ原 → 7:30着 尾瀬ヶ原 → 8:00着 尾瀬ヶ原 → 8:30着 尾瀬ヶ原 → 9:00着 尾瀬ヶ原 → 9:30着 尾瀬ヶ原 → 10:00着 尾瀬ヶ原 → 10:30着 尾瀬ヶ原 → 11:00着 尾瀬ヶ原 → 11:30着 尾瀬ヶ原 → 12:00着 尾瀬ヶ原 → 12:30着 尾瀬ヶ原 → 13:00着 尾瀬ヶ原 → 13:30着 尾瀬ヶ原 → 14:00着 尾瀬ヶ原 → 14:30着 尾瀬ヶ原 → 15:00着 尾瀬ヶ原 → 15:30着 尾瀬ヶ原 → 16:00着 尾瀬ヶ原 → 16:30着 尾瀬ヶ原 → 17:00着 尾瀬ヶ原 → 17:30着 尾瀬ヶ原 → 18:00着 尾瀬ヶ原 → 18:30着 尾瀬ヶ原 → 19:00着 尾瀬ヶ原 → 19:30着 尾瀬ヶ原 → 20:00着 尾瀬ヶ原 → 20:30着 尾瀬ヶ原 → 21:00着 尾瀬ヶ原 → 21:30着 尾瀬ヶ原 → 22:00着 尾瀬ヶ原 → 22:30着 尾瀬ヶ原 → 23:00着 尾瀬ヶ原 → 23:30着 尾瀬ヶ原 → 24:00着 尾瀬ヶ原	
4日目	① 解散 ② 湧水めぐり+村内観光 ③ 日光方面 他	
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【ぶらり館・戸倉開所・戸倉湧水】 ○戸倉地区内にある「ぶらり館」敷地内に戸倉開所や戸倉湧水の水汲み場がある。館内には東京電力尾瀬自然学校があり尾瀬の成り立ち生態系などを学習できる。</p>	 <p>【尾瀬国立公園 尾瀬ヶ原】 ○尾瀬国立公園内の尾瀬ヶ原は760haもの広大な敷地の高層湿原で歴史的、学術的にも貴重な資源である。四季を通じてその姿を変える。</p>	 <p>【尾瀬国立公園 尾瀬沼】 ○尾瀬ヶ原と共に国立公園内に位置し、歴史的、学術的にも貴重な資源である。四季を通じてその姿を変える。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>【尾瀬国立公園 大江湿原】 ○尾瀬国立公園内にあり尾瀬沼湖畔に位置する大江湿原には、幕末の戊辰戦争の際に侵攻に備え会津軍が防塁を築いた名残が今に残る。</p>	 <p>【尾瀬沼湖畔 三平下】 ○尾瀬国立公園内尾瀬沼湖畔に位置し、徳川時代に会津沼田街道の交易の中継所として使われていた場所</p>	 <p>【大清水】 ○尾瀬沼の玄関口(会津沼田街道)尾瀬の湿原と同じように高山植物が生息する。湧き水もあり登山者ののどの渇きもいやしてくれる。</p>




【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月26日

【応募者】 団体名 : 片品村 所在地 : 群馬県利根郡片品村大字鎌田3967-3 TEL/FAX : TEL0278-58-2111 FAX0278-58-2110 担当者 : むらづくり観光課 メールアドレス : t-shin@vill.katashina.lg.jp 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h1 style="color: red;">20</h1>
--	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
尾瀬の郷名水めぐり 五感まるごと刺激!! 森林浴・温泉浴・食欲を満喫!	群馬県	尾瀬の郷片品村
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
環境省認定平成の名水百選「尾瀬の郷片品湧水群」の水の誕生を知り、水のありがたさがわかる。水は森林から自然濾過され湧水となり、大地を潤し高原野菜等が美味しくでき人間を育てている。		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	
【旅の目的】	森林浴をしながら水の誕生を知り、自然濾過した水を目の当たりに見て、温泉に入り身体を癒し、名水で育った片品の食彩を食べ片品で五感をまるごと刺激する。 五感まるごと刺激!! 森林浴・温泉浴・食欲を満喫!	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 6月~10月)	【催行人員】 20名 (最少催行人員: 10名)
【原価】	内 訳 現地費用のみ (交通費等含まない) 宿泊6,500円~ 夏山リフト1,000円 料理体験1,200円~ 温泉入浴代500円 名水ペットボトル150円 (ガイド8,000円) 自称水マイスター千明が講義あり	
【販売価格】	円 大人1名	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
環境省認定平成の名水百選「尾瀬の郷片品湧水群」 ブナ林を散策し水の誕生を知る。 湧水を目の前で見て聞いて感激。 名水の温泉で疲れを癒す。 名水で育った高原野菜等片品の食彩を味わう。 自分の名水を探す。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 片品村むらづくり観光課/後援	⑤	/
② 片品村観光協会/後援	⑥	/
③	/	⑦ /
④	/	⑧ /
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	グリーン・エコ・ヘルスツーリズムに積極的に取り組んでいる村で自然豊かで空気・大地・水が綺麗な村です。 片品村の水道水の水は、源から外気に触れず各家庭に引いています。(水道水も湧水)	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	午後 武尊牧場夏山リフト事務所前集合 夏山リフトで標高1,500mのレンゲツツジ群三号平(30分) ブナ林散策(60分) 夏山リフト下山(30分) 武尊湧水見学(40分) 宿泊	
2日目	午前 尾瀬の郷名水めぐり(90分) 体験施設にて食事(90分) 花めぐり(天王桜・水芭蕉の森4月下旬から5月上旬)(90分) 解散(午後4時)	
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】 ブナの原生林で森林浴	【コメント】 平成の名水百選の湧水が目のあたりに見える「武尊湧水」	【コメント】 樹齢300年の「天皇家」 4月下旬から5月上旬
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
【コメント】 「水芭蕉の森」 4月下旬から5月上旬	【コメント】 平成の名水百選 「観音様の水」	【コメント】 平成の名水百選 「花の谷湧水」